

達古武地域における森林再生 ベースマップの作成と保全・再生優先度の検討 (2/10)
2. 空中写真の判読と現地踏査に基づくベースマップの作成

- 空中写真を判読して森林の情報をGIS化
植生区分 樹木サイズ(3段階) 樹冠うっぺい度(3段階)
- 現地踏査によって空中写真の判読ミスを修正し、植生区分ごとに森林・動物などの情報を51箇所ですampling
区分修正 詳細な植生区分 森林構造 動物の痕跡

● 空中写真と判読による区域分け

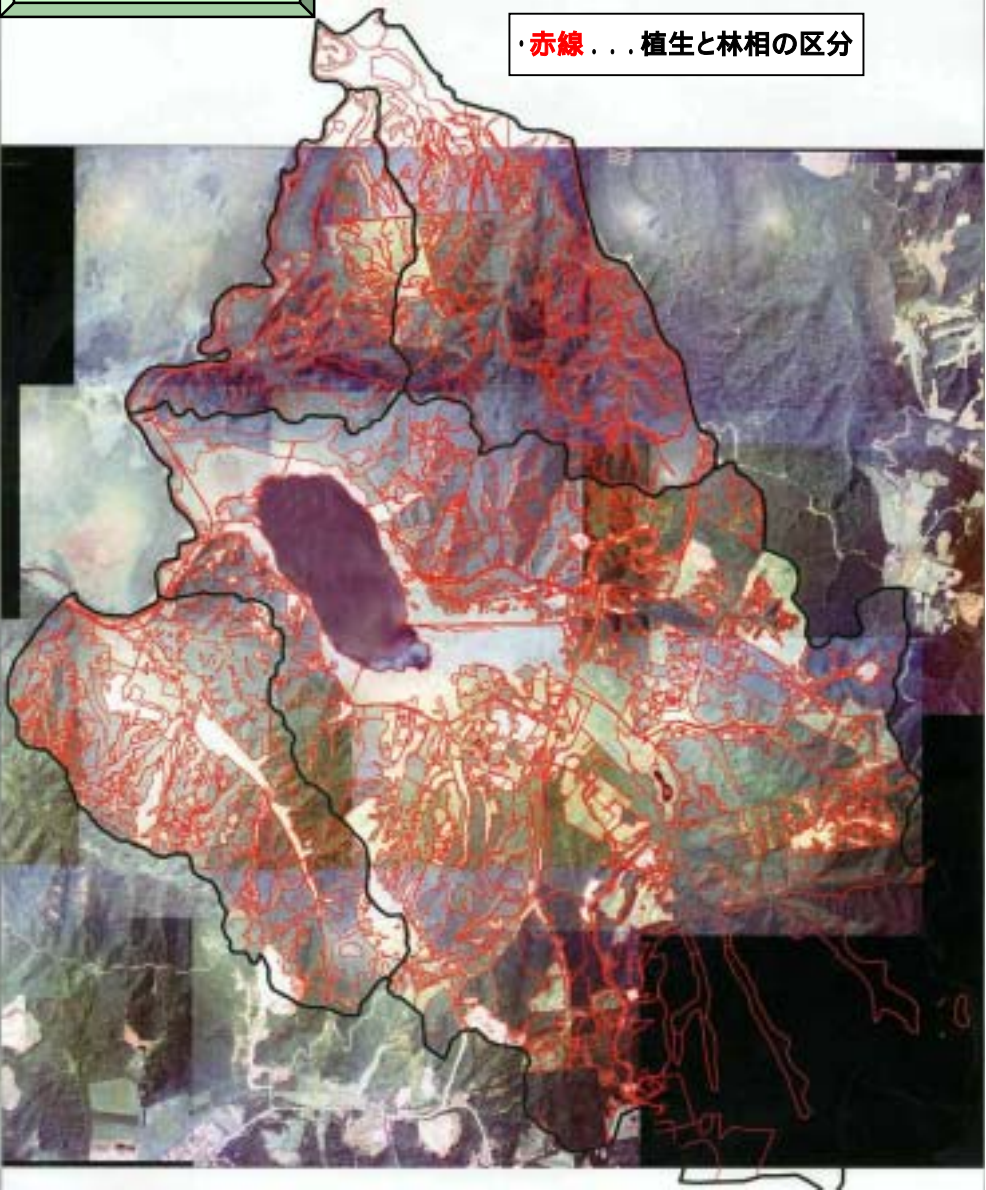
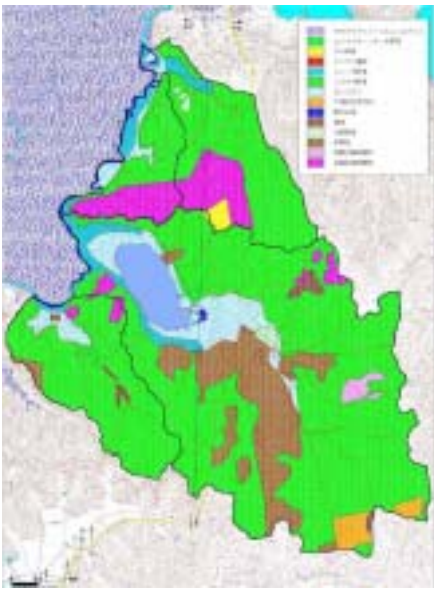


表.分析に使用したデータ

	対象	作業内容
現存植生図	環境省自然環境GIS	参照程度
現存植生図	第6回植生図用作業データ	参照程度
空中写真	釧路市撮影2000カラー	判読に使用
	国土地理院1999白黒	南東部の判読に使用
林相区分		現地踏査
シカ密度		現地踏査(足跡など)
湧水確認位置		現地踏査

● 第5回植生図



● 森林調査のサンプリング箇所一覧

	箇所数	地点番号
乾性落葉広葉樹林(ミズナラ群落)	8	1・7・29・34・36・39・47・48
乾性落葉広葉樹林(シラカンバ・ダケカンバ群落)	2	27・45
乾性落葉広葉樹林(エゾイタヤ・シナノキ群落)	3	22・46・49
乾性落葉広葉樹林(低木ヤナギ群落)	4	11・14・16・18
湿性落葉広葉樹林(ハルニレ・ヤチダモ群落)	4	2・13・28・41
針広混交林	1	50
湿地林(ハンノキ・ヤチダモ群落)	8	8・9・20・21・30・31・32・35
落葉広葉樹人工林(カラマツ植林)	10	3・10・12・24・25・33・38・40・42・53
常緑針葉樹人工林(トドマツ植林など)	5	4・15・23・44・52
幼齢造林地	1	51
湿原草地(ヨシ群落)	3	17・19・26
伐採跡地	2	43・48
合計	51	

● 森林調査の項目と結果の例

地点番号	1
北緯43°	05' 10.0"
東経144°	30' 25.2"
積雪深cm	40
植生区分	落葉広葉樹林(ミズナラ二次林)
サイズ・密度	小・密
林冠の優占種	ミズナラ(シラカンバ、シナノキ、イタヤカエデ)
林齢	20～25
林冠のうっ閉率%	90
平均直径cm	15
平均林冠高m	11
立木密度/100m ²	21
稚樹密度/100m ²	3
林床の優占種	ミヤコザサ
ササの被度%	不明

周辺の伐採状況	農地に隣接
エゾシカの痕跡	なし
備考	キツネ足跡あり
調査日	2003/1/27



● 森林調査のサンプリング箇所位置図

